



## タコの足は切った後も、どうして動くの

### タコにも心臓や脳がある

タコの体を解ぼうしてみると、人間と同じように、心臓（えら心臓）や、脳神経や、腸や、血が流れる血管があります。タコは、水の中でくらししていますから、空気中で、息をしている人間とは、心臓など体のつくりは少しちがいます。血も赤い色をしていないので、血管はわかりにくいです。

でも、心臓が全身に血を送り出す役目をしているとか、何かにさわると、それが脳神経に伝わり、「さわったものをつかめ」という命令が足に伝わって、タコが足を巻きつけるなどのしくみは、人間と同じです。

### 生物の体は、細胞の集まり

タコも人間も、体全身は、小さい細胞が集まってできています。小さい細胞の一つずつが、血が全身に運んでくれる栄養や、酸素を受け取って、生きて活動しています。

とつぜん、タコが足を切り取られると、足の細胞は、まだ生きています。足の神経も、切られて脳神経まではつながっていませんが、足の部分はまだ生きています。そのため、しばらくは、切られた痛さの刺激が残って、ぴくぴく動いたり、足にさわったものに吸ばんが吸いついたりするのです。

しばらくすると、もう新しい血が送られてこないし、神経も切られたままなので、足の細胞はだんだん死んでいきます。そのため、もう動かなくなります。（監修・安部 義孝）

